

新山梨環状道路連絡調整会議 (第2回)

資料

令和8年1月20日

【 議 事 】

1. 第1回の振り返り
2. 甲府河川国道での検討及び進捗状況
3. 桜井JCT～甲斐IC・JCT間の有料道路事業との合併施行による道路構造等の検討状況について
4. 都市計画変更に向けた対応について
5. 今後の予定

新山梨環状道路連絡調整会議（第1回） 議事概要（抜粋）

○開催日時：令和5年12月25日（月） 14：00～15：00

○出席者：山梨県 県土整備部 高速道路推進課 課長
関東地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長補佐
甲府河川国道事務所 副所長

○山梨県より提案事項

- ・新山梨環状道路（桜井～甲斐）については、早期整備実現のため直轄事業と有料道路事業の合併施行の計画に変更して欲しい。
- ・国で事業を実施している広瀬～桜井区間の用地買収を県にて一部実施するなど、引き続き事業推進に協力するので、残る未事業化区間である桜井～牛久保間約10kmについて早期に事業着手を図って欲しい。

○今後の進め方

- ・桜井～甲斐区間については、山梨県からの提案事項を踏まえ、有料道路事業を前提とした道路構造等の検討を進める。
- ・事業中区間におけるトンネル掘削に伴う発生土受入地については、事業推進のため、県が主体的に市町村と調整していく。

国土交通省

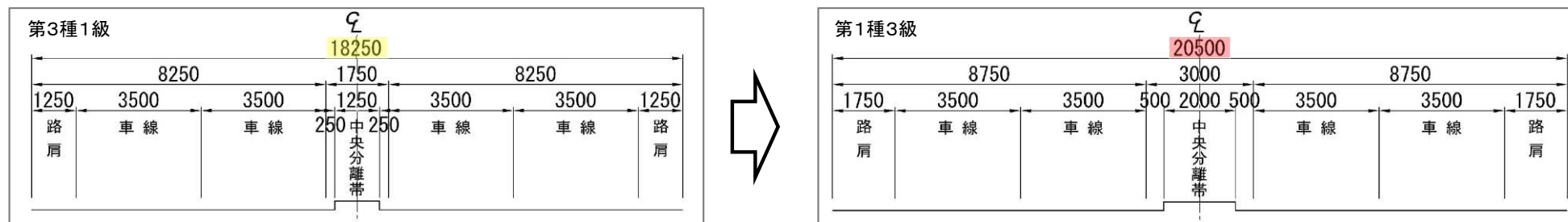


国土交通省

- ※接続道路(中央道)の道路管理者

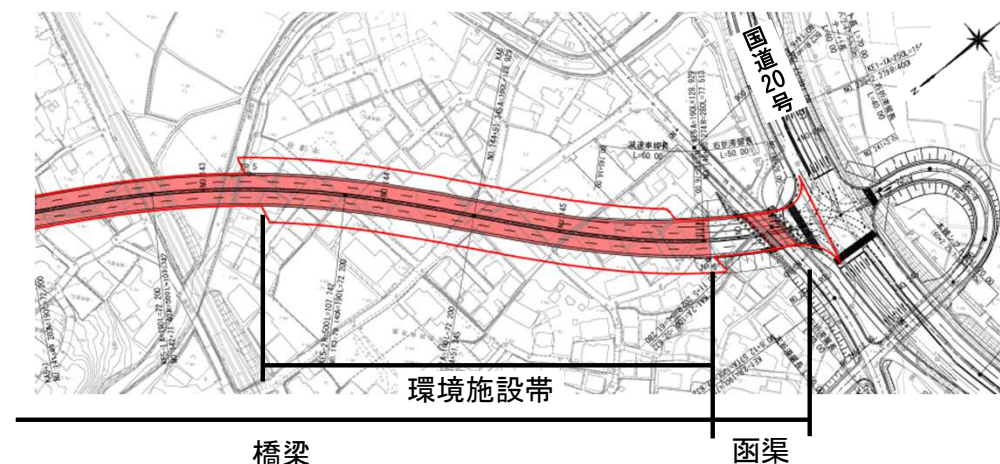
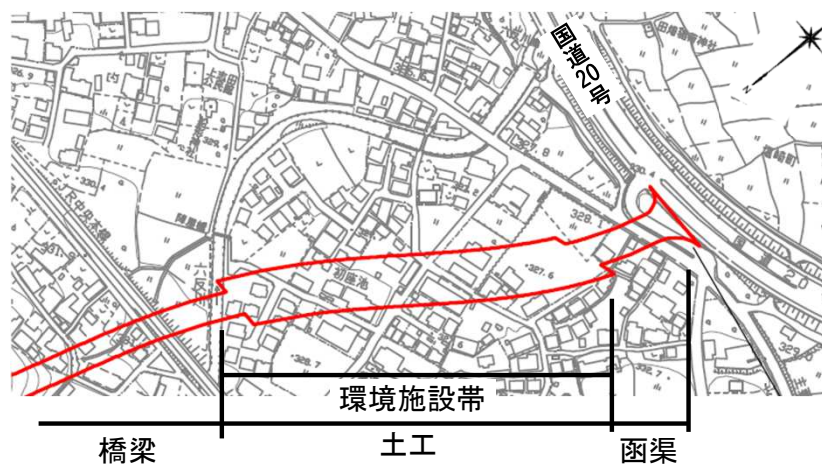


○有料道路事業との合併施行を考慮し、道路の区分を「第3種1級」から「第1種3級」に見直し



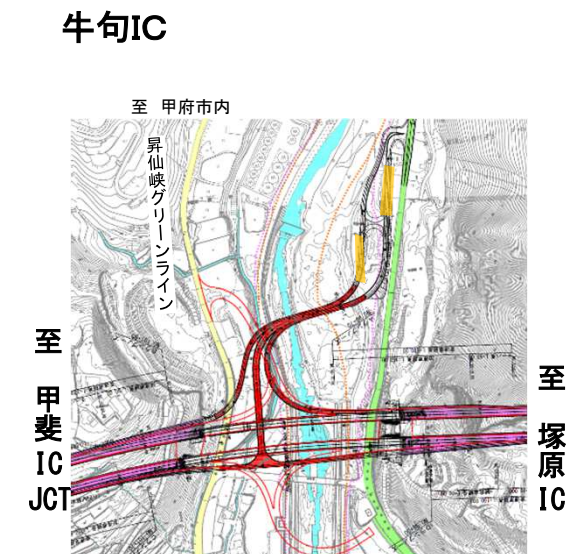
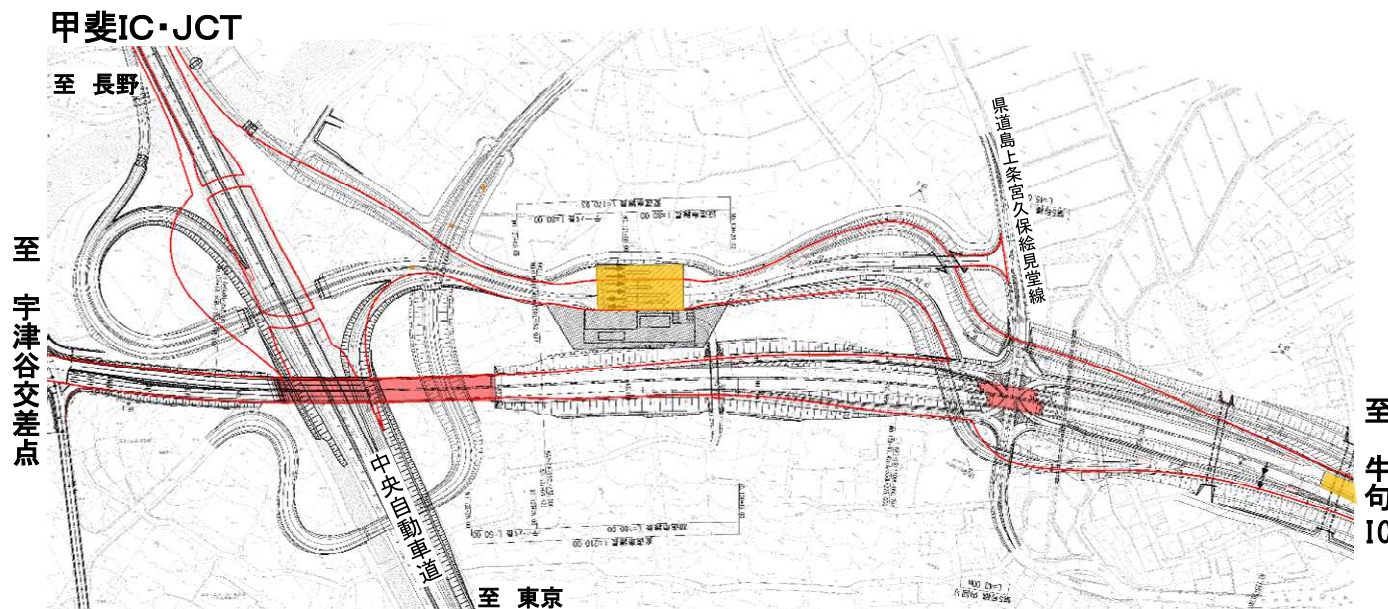
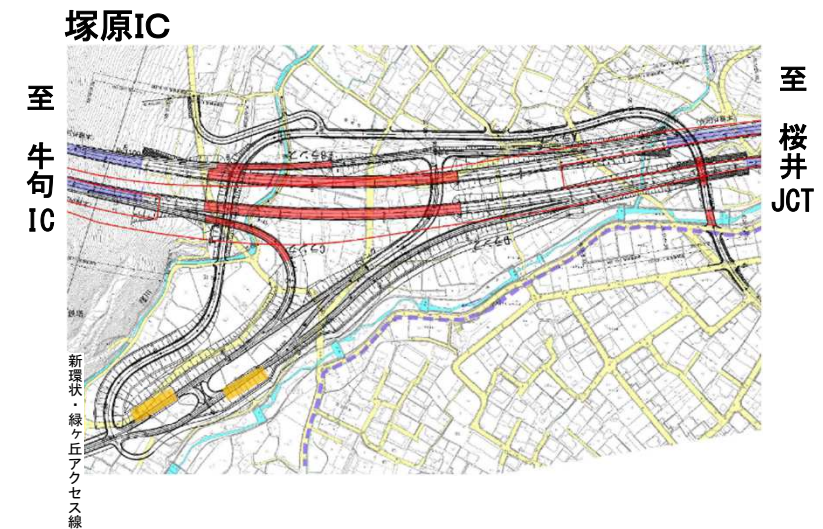
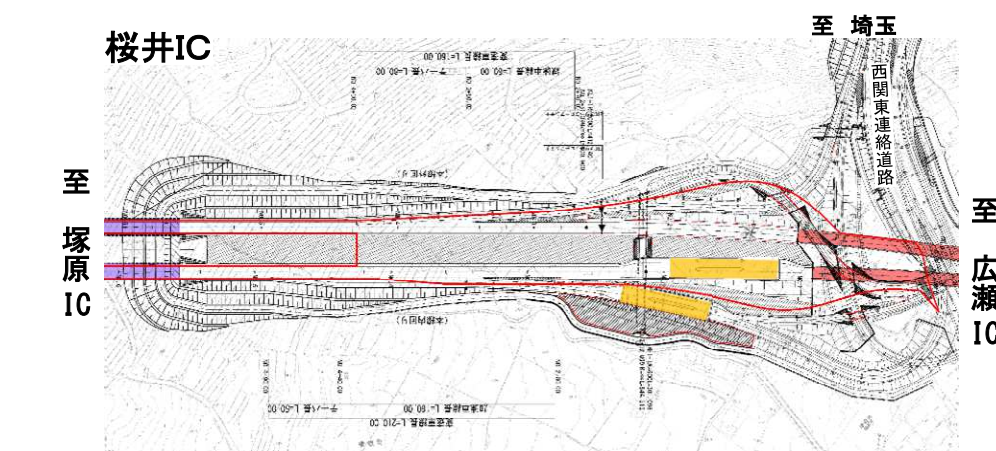
○宇津谷交差点の構造(土工→橋梁)

※周辺は第1種中高層住居専用地域であり、本線と近接することから環境施設帯を設け関係機関と構造を協議



※今後、関係機関との調整により変更となる場合があります

○有料道路事業との合併施行を考慮し、各ICへ料金所を追加



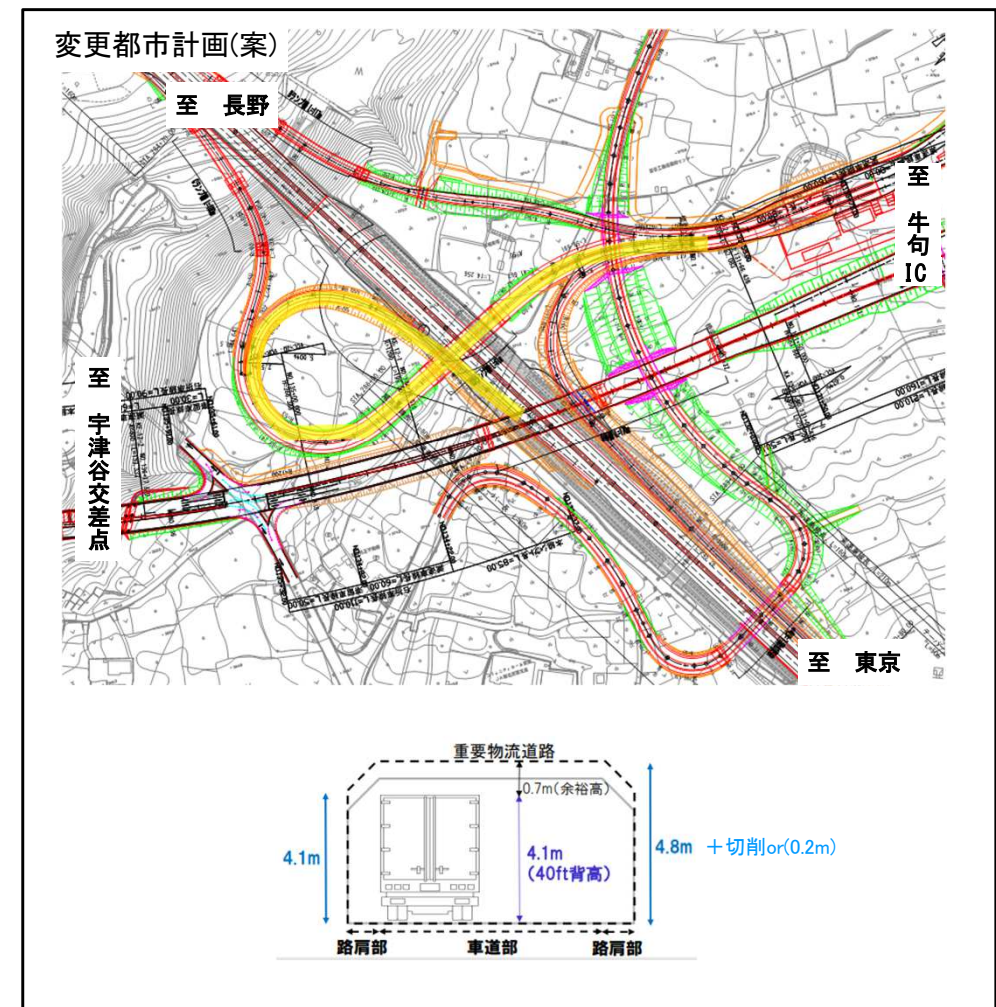
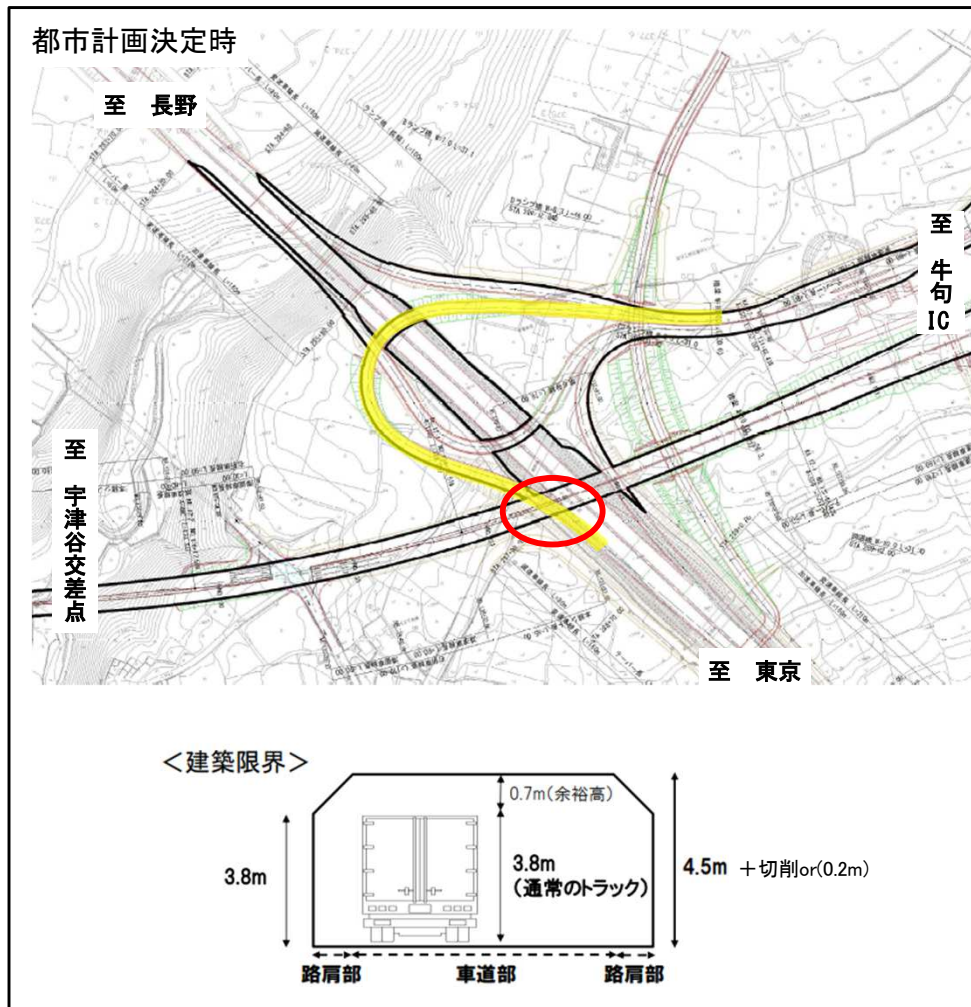
凡 例

：料金所

：H25.3の都市計画線

※今後、関係機関との調整により変更となる場合があります

- ・都市計画決定時の甲斐JCT計画は、建築限界H=4.7mとして計画
- ・中央道が重要物流道路に指定(H31年4月)されたことを受け、建築限界をH=5.0mに見直し
※H=5.0m (4.8m(建築限界)+0.2m(切削オーバーレイ))
- ・併せて、維持管理空間のH=0.9mを確保



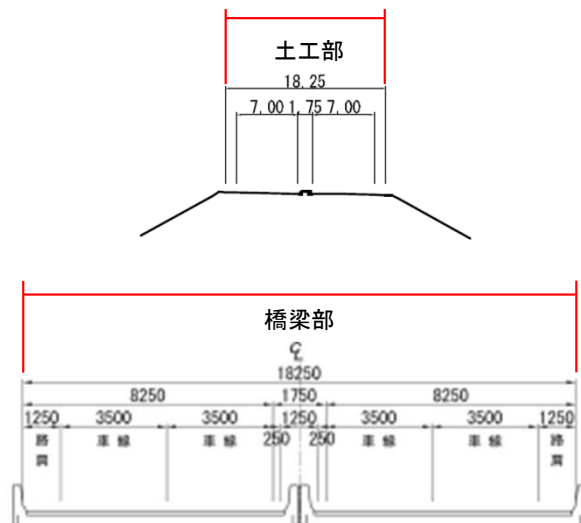
※今後、関係機関との調整により変更となる場合があります

4. 都市計画変更に向けた対応について

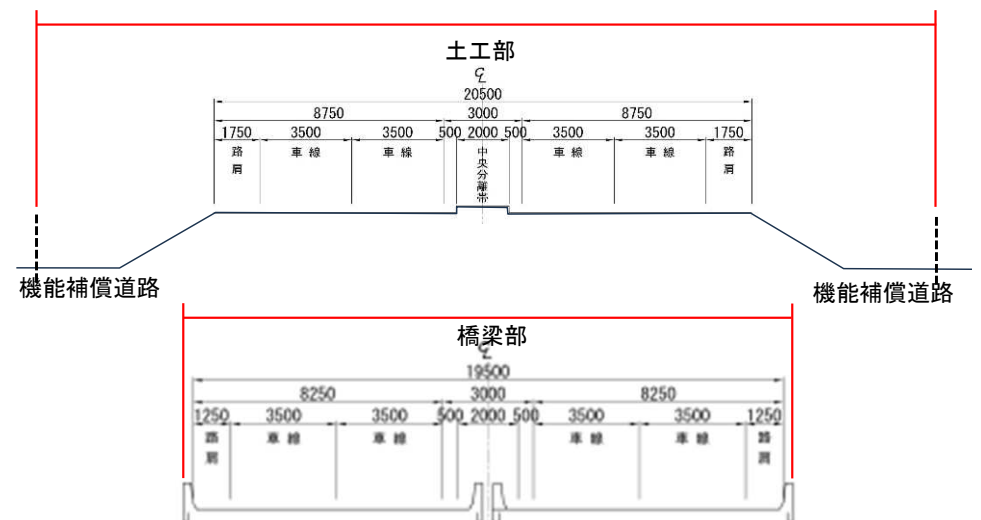
- 桜井JCT～宇津谷交差点間について、事業範囲の確定に必要な道路構造の設計が概ね完了したため、地元説明会など、都市計画変更に必要な手続きを進めていく。

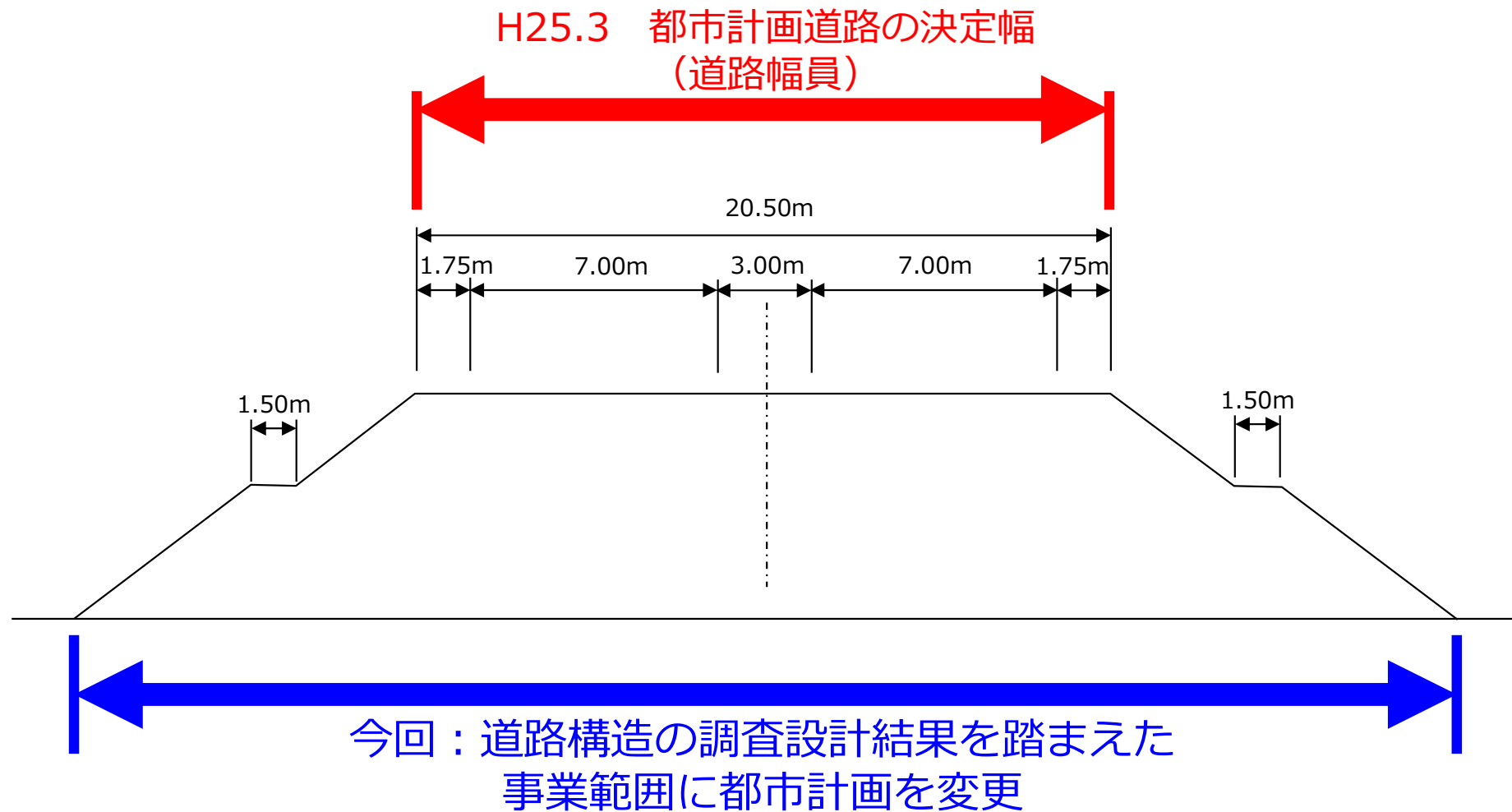
項目	H25都市計画時	変更内容
道路の区分	第3種第1級	第1種第3級
幅員	18.25m	20.5m
料金所	— (甲斐IC・JCTは除く)	有料道路事業合併施行を考慮
トンネル坑口	—	坑口部の切土範囲の確定
土工部	—	道路設計に基づく事業範囲の確定
機能補償道路	—	関係市との協議結果を反映

現在の都市計画幅



今回の都市計画変更





横断面図の例

令和5年12月25日

新山梨環状道路連絡調整会議（第1回）

- ・ 事業中区间については、国と県と情報共有を図りながら早期開通に向け事業を推進
- ・ 桜井～甲斐区间については、県からの提案事項を踏まえ、有料事業を前提とした道路構造の検討を進める



令和6年度

桜井JCT～塚原IC 事業化



今回

令和8年1月20日

新山梨環状道路連絡調整会議（第2回）



令和8年3月以降

事業範囲に合わせた都市計画変更説明会



都市計画変更手続き

- ・ 都市計画変更公告縦覧
- ・ 公聴会
- ・ 都市計画審議会
- ・ 都市計画決定告示、縦覧